

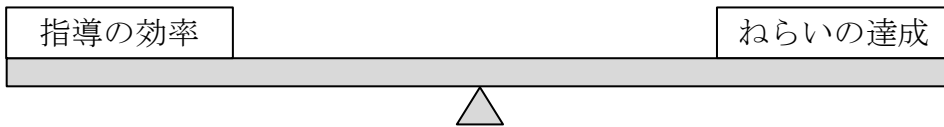
## <503> キット教材を有効に活用するエッセンスは？

キット教材は、少ない授業時数で、技術分野のねらいを達成するために、上手に活用すると大変に有意義です。しかし、活用方法を間違えると、単なるプラモデルづくり的になり、「学力の3要素」が育ちません。そこで、キット教材を効果的に活用するために、次の3つのエッセンスを意識してみてもいいでしょうか。

### エッセンスー1：キット教材のメリットとデメリットを考慮する

授業時数の範囲で効率的に教材を準備・運用するとともに、技術分野のねらいの達成とメリットとデメリットのバランスを考えて選択することが大切です。

キット教材は、材料だけの教材より必要な授業時数が少なく指導の効率はよいが、配慮が足りないと学習効果が若干落ちる心配があるため、教師側の工夫が不可欠である。



### エッセンスー2：キット教材を選ぶ視点をしっかりと見定める

キット教材を選ぶとき、カタログを見て「これが面白そうだから」ではなく、資料1を参考にして、自分の学校の教育目標や授業のねらい、物理的な条件に合うキット教材を選ぶようにします。

#### 資料1：キット教材を選ぶ際に考慮する条件の例

- 技術分野の目標にある問題解決が学習でき、学習指導する学年に相当しているか？
- 技術室にある設備や工具で対応できるか？
- 生徒が作品に興味・関心を示し、完成作品を生活に役立てることができるか？
- 限られた授業時数で完成させることができるか？
- 私費負担が適切な価格になっているか？

### エッセンスー3：キット教材を有効に活用するための根拠を明確にする

キット教材を有効に活用するための根拠としては、自分の学校の教育目標に沿った授業展開にすることが大切です。資料2を参考にして、学習指導と学習評価ができる視点で考えてみてください。更に、資料3にあるようなキット教材を活用する根拠も明確にしておく必要があります。

## 資料2：キット教材を選ぶ根拠の例

- キット教材を選ぶときは、生活の問題を課題にする、問題発見を大切にする。
- キット教材学習の終末は、作品の完成時点ではなく、生活で活用する時点にする。
- 材料や部品のキット教材とワークシートとは一体として活用する。
- ワークシートは、技術分野で大切にするを基盤にして出来たら自作していく。  
キット教材のワークシートを使用する場合は、確固たる指導の方針や理念の基で、アレンジして使っていくことが大切である。(流れや内容をそのまま使わない)
- 学習評価は、完成度だけでなく、学習活動の過程や作品の活用も含める。

## 資料3：キット教材を活用する根拠の例

- 様々な素材・材料・部品などを一度に揃えることが出来る。
- 教材に用いる最適な素材・材料・部品などを必要な量だけ準備することが出来る。
- 様々な種類の素材・材料・部品などを別々に購入すると多くの費用がかかるが、キット教材では、適正な予算内に納めることが出来る。